

——— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。 ———

## 使用上の注意 改訂のお知らせ

2020年7-8月

劇薬  
向精神薬  
習慣性医薬品<sup>注1)</sup>  
処方箋医薬品<sup>注2)</sup>

注1)注意—習慣性あり  
注2)注意—医師等の処方箋により使用すること

催眠・鎮静・抗けいれん剤  
**ルピアル坐剤 25**  
**ルピアル坐剤 50**  
**ルピアル坐剤 100**  
LUPIAL SUPPOSITORIES  
(フェノバルビタールナトリウム坐剤)

製造販売元

 **久光製薬株式会社**

〒841-0017 鳥栖市田代大官町408番地

このたび、標記製品の【禁忌】及び【使用上の注意】を以下のとおり改訂いたしましたのでご案内申し上げます。今後のご使用に際しましては、以下の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

なお、改訂後の添付文書を封入した製品がお手元に届くまでに若干日時を要する点を、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

### 【改訂内容】

[ ] : 下線部改訂箇所

改訂後	現行
<p><b>【禁忌】</b> (次の患者には投与しないこと) (略)</p> <p>3. ポリコナゾール、タダラフィル (肺高血圧症を適応とする場合)、アスナプレビル、ダクラタスビル、マシテンタン、エルバスビル、グラゾプレビル、チカグレロル、アルテメテル・ルメファントリン、ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル、ダルナビル・コビススタット、<u>ドラビリン</u>、<u>リルピビリン</u>、<u>リルピビリン・テノホビル</u> ジソプロキシル・エムトリシタビン、<u>リルピビリン・テノホビル</u> アラフェナミド・エムトリシタビン、<u>ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビル</u> アラフェナミド、<u>エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビル</u> アラフェナミド、<u>エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビル</u> ジソプロキシル、<u>ソホスビル・ベルパタスビル</u>、<u>ドルテグラビル・リルピビリン</u>を投与中の患者 (「相互作用」の項参照) (略)</p>	<p><b>【禁忌】</b> (次の患者には投与しないこと) (略)</p> <p>3. ポリコナゾール、タダラフィル (肺高血圧症を適応とする場合)、アスナプレビル、ダクラタスビル、マシテンタン、エルバスビル、グラゾプレビル、チカグレロル、アルテメテル・ルメファントリン、ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル、ダルナビル・コビススタット、<u>リルピビリン</u>、<u>リルピビリン・テノホビル</u> ジソプロキシル・エムトリシタビン、<u>リルピビリン・テノホビル</u> アラフェナミド・エムトリシタビン、<u>ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビル</u> アラフェナミド、<u>エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビル</u> アラフェナミド、<u>エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビル</u> ジソプロキシル、<u>ソホスビル・ベルパタスビル</u>、<u>ドルテグラビル・リルピビリン</u>を投与中の患者 (「相互作用」の項参照) (略)</p>

改訂後			現行																
<b>【使用上の注意】</b> (略) <b>3. 相互作用</b> (略) <b>(1) 併用禁忌 (併用しないこと)</b>			<b>【使用上の注意】</b> (略) <b>3. 相互作用</b> (略) <b>(1) 併用禁忌 (併用しないこと)</b>																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボリコナゾール (ブイフェンド) タダラフィル (肺高血圧症を適応とする場合：アドシルカ) アスナプレビル (スンベプラ) ダクラタスビル (ダクルインザ) マシテンタン (オプスミット) エルバスビル (エレルサ) グラゾプレビル (グラジナ) チカグレロル (ブリリンタ) アルテメテル・ルメファントリン (リアメット配合錠) ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル (ジメンシー配合錠) ダルナビル・コビススタット (プレジコビックス配合錠) ドラビリン (ピフェルトロ)</td> <td>これらの薬剤の代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。</td> <td>本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用による。</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ボリコナゾール (ブイフェンド) タダラフィル (肺高血圧症を適応とする場合：アドシルカ) アスナプレビル (スンベプラ) ダクラタスビル (ダクルインザ) マシテンタン (オプスミット) エルバスビル (エレルサ) グラゾプレビル (グラジナ) チカグレロル (ブリリンタ) アルテメテル・ルメファントリン (リアメット配合錠) ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル (ジメンシー配合錠) ダルナビル・コビススタット (プレジコビックス配合錠) ドラビリン (ピフェルトロ)	これらの薬剤の代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用による。	(略)	(略)	(略)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボリコナゾール (ブイフェンド) タダラフィル (肺高血圧症を適応とする場合：アドシルカ) アスナプレビル (スンベプラ) ダクラタスビル (ダクルインザ) マシテンタン (オプスミット) エルバスビル (エレルサ) グラゾプレビル (グラジナ) チカグレロル (ブリリンタ) アルテメテル・ルメファントリン (リアメット配合錠) ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル (ジメンシー配合錠) ダルナビル・コビススタット (プレジコビックス配合錠)</td> <td>これらの薬剤の代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。</td> <td>本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用による。</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ボリコナゾール (ブイフェンド) タダラフィル (肺高血圧症を適応とする場合：アドシルカ) アスナプレビル (スンベプラ) ダクラタスビル (ダクルインザ) マシテンタン (オプスミット) エルバスビル (エレルサ) グラゾプレビル (グラジナ) チカグレロル (ブリリンタ) アルテメテル・ルメファントリン (リアメット配合錠) ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル (ジメンシー配合錠) ダルナビル・コビススタット (プレジコビックス配合錠)	これらの薬剤の代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用による。	(略)	(略)	(略)
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																	
ボリコナゾール (ブイフェンド) タダラフィル (肺高血圧症を適応とする場合：アドシルカ) アスナプレビル (スンベプラ) ダクラタスビル (ダクルインザ) マシテンタン (オプスミット) エルバスビル (エレルサ) グラゾプレビル (グラジナ) チカグレロル (ブリリンタ) アルテメテル・ルメファントリン (リアメット配合錠) ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル (ジメンシー配合錠) ダルナビル・コビススタット (プレジコビックス配合錠) ドラビリン (ピフェルトロ)	これらの薬剤の代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用による。																	
(略)	(略)	(略)																	
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																	
ボリコナゾール (ブイフェンド) タダラフィル (肺高血圧症を適応とする場合：アドシルカ) アスナプレビル (スンベプラ) ダクラタスビル (ダクルインザ) マシテンタン (オプスミット) エルバスビル (エレルサ) グラゾプレビル (グラジナ) チカグレロル (ブリリンタ) アルテメテル・ルメファントリン (リアメット配合錠) ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル (ジメンシー配合錠) ダルナビル・コビススタット (プレジコビックス配合錠)	これらの薬剤の代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用による。																	
(略)	(略)	(略)																	

### 【改訂理由】

ドラビリンを有効成分とする抗ウイルス化学療法剤 (ピフェルトロ錠 100mg) の添付文書の**禁忌**及び**相互作用**の**併用禁忌**の項にフェノバルビタールが記載されたため、本剤の**【禁忌】**及び**【使用上の注意】**の**相互作用**の**併用禁忌**を改訂いたしました。

### 【お問い合わせ先】

#### 久光製薬株式会社 学術部 お客様相談室

〒100-6330 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号  
 フリーダイヤル 0120-381332 FAX. (03)5293-1723  
 受付時間/9:00-17:50 (土日・祝日・会社休日を除く)

医薬品添付文書改訂情報については、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)」に最新添付文書並びに医薬品安全対策情報 (DSU) が掲載されますので、ご参照ください。